

明石市内全域の均衡ある発展を目指した取り組みについて

本市にあっては、これまでの、こどもを核としたまちづくりや誰にもやさしいまちづくりの取り組みにより、人口が増え、まちの賑わいや税収が増加し、更なる施策展開が可能となり、それにより、まちの魅力が一層向上するという、好循環が拡大しています。

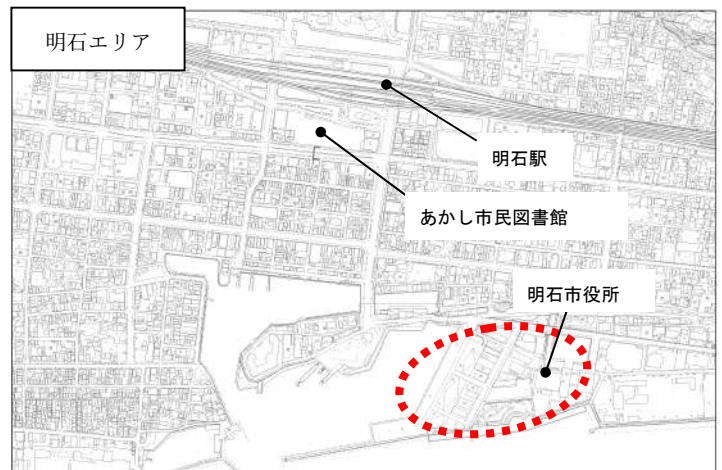
さらに今後、次の100年を見据えた持続可能なまちづくりに向けて、「SDGs未来安心都市・明石の創造」を掲げ、まちの好循環の継続・拡大を図るため、ソフト施策はもとより、ハートフル・ハード整備として、市民の安全と快適な暮らしを支える都市空間づくりに向けて、中心市街地の明石地区だけでなく、各地域の実情や特性を踏まえた、市域全体の均衡ある発展を目指した取り組みを進めているところです。

については、次のとおり、市内の5つのプロジェクトについて、推進を図るとともに、検討を進めています。

5つのプロジェクトの概要

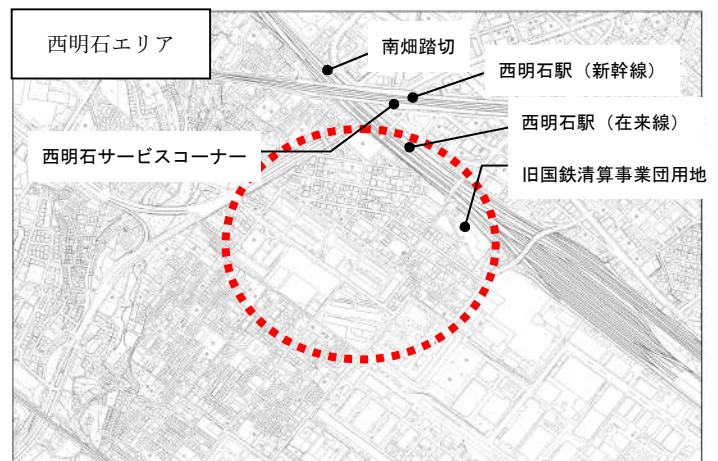
1 明石エリア

- ・現在地建て替えの方向で進めている市役所新庁舎の整備について、庁舎のダウンサイジングや現庁舎敷地の一部を民間へ売却するなど市民負担の軽減を図りながら、県の明石港東外港地区再開発計画及びそれに伴う中心市街地の南の拠点整備と連携した整備の検討に向けた取り組みを進めます。



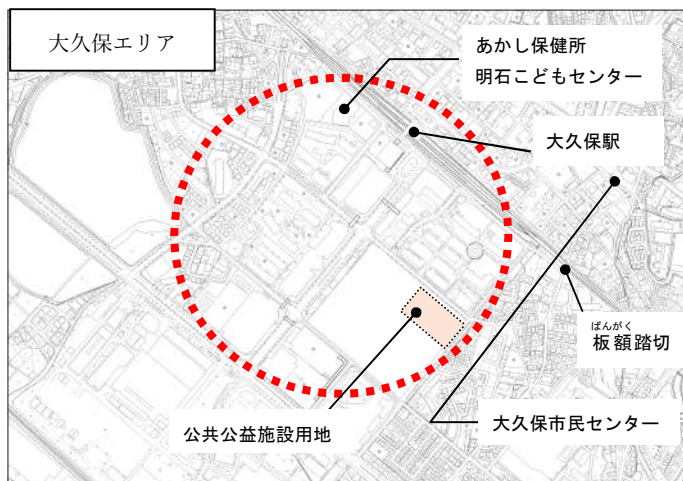
2 西明石エリア

- ・西明石活性化プロジェクト協議会にて示された課題の解決に向け、本市が所有する旧国鉄清算事業団用地の開発はもとより、駅及び駅周辺のバリアフリー化や利便性の向上にも配慮しながら、JR西日本との共同によるエリア全体のまちづくりの検討を行っています。



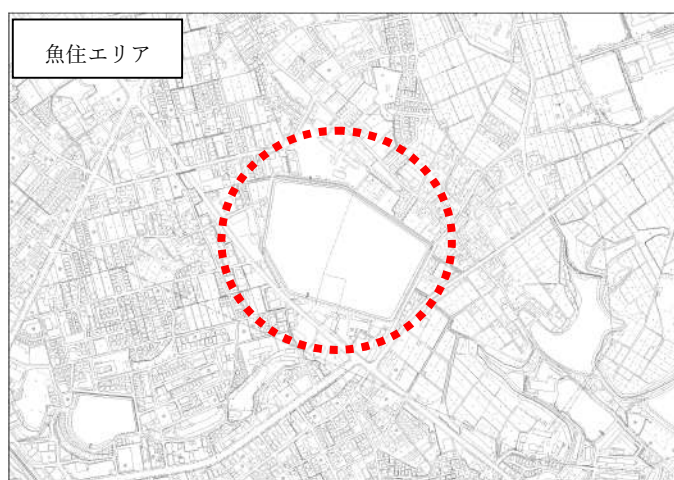
3 大久保エリア

- 大久保駅南のJ T跡地における民間開発が進むなか、本のまちアンケートにおいても一位の要望があり、市民から望む声大きい図書館整備等、駅周辺のさらなる活性化について検討を進めます。



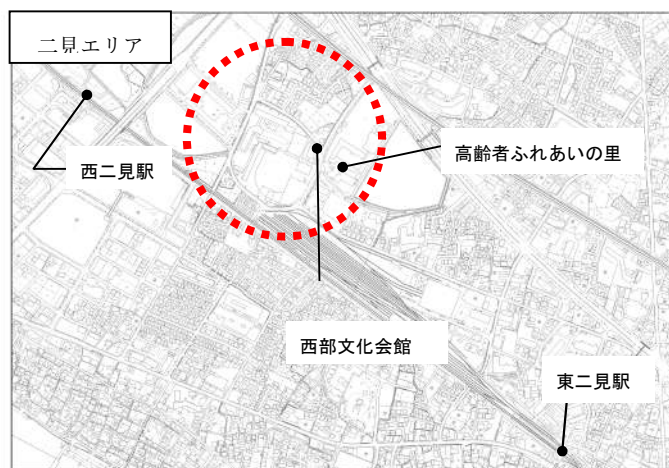
4 魚住エリア

- 地域の農業用ため池として活用されてきた17号池について、必要なため池の規模を確保しつつ、健康促進や自然とのふれあいなど、誰もが楽しむことができる(仮称)17号池公園として整備します。



5 二見エリア

- 二見地区については、地域からの要望も踏まえ、地域特性や効率化等を十分に考慮した公共施設の整備と機能の充実化、複合化、集約化を図るなど、幅広い世代の交流促進と利便性の向上を図るための検討を行います。



【位置図】

